

令和4年度 第2回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和4年11月21日（月） 午後2時から午後4時まで				
開催場所	瀬戸市役所 東庁舎4階 大会議室				
出席委員	22名	欠席委員	2名	傍聴者	7名
会議概要	<p>1 会長あいさつ (事務局) 会長を務める市長は本日欠席でございますので、申し訳ありませんが、次に進ませていただきます。</p> <p>2 議長あいさつ (議長) 本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。 地方の公共交通は、地域の住民たちが協力して路線を残すという時代もありましたが、先週の水曜日に合った公共交通のシンポジウムにて中部運輸局様より共に創る、「共創」というテーマを挙げられており、この20年間で時代も変わったと感じたところでもあります。このように公共交通は、時代とともに変わるものなので、時代に合わせて見直していく必要があると思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 協議事項 コミュニティバスのバス停移設について 別紙資料1に従って事務局から説明</p> <p>(質疑応答) (議長) ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等ございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。</p> <p>(公募市民) 今回の議題の発議者は、住民、事務局どちらになるのでしょうか。</p> <p>(議長) 事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局) 地元住民から意見があり、事務局にて現地確認のうえ本案を作成しています。</p> <p>(公募市民) 地元からということは、運行協議会からの意見でしょうか。</p> <p>(事務局)</p>				

発議者としては、運行協議会ではなく地元住民となります。その後、事務局にて案をまとめたところで運行協議会と協議しています。

(議長)

本案のバス停は、県が発表している危険バス停に該当しているのでしょうか。

(事務局)

本案のバス停は、危険バス停の対象とはなっておりません。そのため近隣住民の意見に対応する形となっております。

(議長)

危険バス停に該当していなくてもそのような場所はどうしてもありますので、今回対応したということですね。その他何か質問はございますか。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

確認となりますが、今回の移設先は、交差点及び横断歩道から5m以上離れている場所ということでしょうか。

また、こうはん線の移設先については、バス停付近に樹木がありますが、バスの運転手が待合者を見落とす危険はないのでしょうか。

併せて事業者様には届出漏れ内容ご指示お願いいたします。

(議長)

事務局から説明をお願いします。

(事務局)

まず、今回の移設先については、交差点及び横断歩道の距離については、問題ありません。

また、こうはん線の移設先については、バスの進行方向の関係上、待合者が樹木に隠れてしまうことは起こらないとは考えておりますが、見落としが発生しないよう運行事業者と見落とす危険があることの情報共有をしたいと考えます。

(議長)

他はいかがでしょうか。

この件について、特にご意見がなければ、原案のとおり可としてよろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

(2) 協議事項 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

別紙資料2に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

ご説明いただきました内容について、何か皆様からご質問等がございましたらお受けしますが、いかがでしょうか。

(公募市民)

何点か順を追って質問させていただきます。

まず、住民バスの運転手確保について地元広報誌にて募集とありますが、市の広報では、足りないということでしょうか。

また、運転手が集まらないのは報酬が少ないからなのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

住民バスについては、運転手の定年が近いということで募集をしておりますが、広報1回では足りないので、何度も募集することでできる限り多くの方の目に留まるようにするものであります。

また、運転手の報酬については、運行経費及び運行形態に影響が多少なりとも出るとおられますのでそれらを総合的に考慮して判断したいと思っております。

(公募市民)

運転手が集まらない原因を把握する必要があると思っておりますが、現在考えられる原因は何かあるのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

現在募集をしている条件が週に2日以上勤務できる方といった制限を設けているためこのような制限を少し緩和することで従事しやすい環境づくりをできればと考えております。

(公募市民)

条件を緩和するのも一つかもしれませんが、そもそも地元以外から運転手の募集をしてもよいのではないのでしょうか。

(議長)

この件について、瀬戸市自治連合会会長様よりご意見はございませんでしょうか。

(瀬戸市自治連合会)

確かにそのような意見もあるかもしれませんが、当方としては、運転手のコミュニティを大事にしたいと考えており、運転手の人数が増えすぎると運用が難しくなってしまうため現在のような条件で募集しているところであります。

(公募市民)

3 ページに公共交通空白地域とありますが、こちらはどのような地域が該当する

のでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

こちらは、鉄道駅やバス停から300m以上離れた地域を本市では定めておりますが、人口密度が高い地域で言えば長根の地域が該当しております。

ただ、長根の地域についても瀬戸市地域公共交通網形成計画の策定後に名鉄バスのバス停を増やしており、公共交通空白地域の解消のために努めているところであります。

(公募市民)

長根の地域は沿線協議会に属していないと記憶しておりますが、いかがでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

長根連区自治会は、市内基幹バスにて設けている沿線協議会には属していませんが、コミュニティバスにおいて設けているこうはん線の運行協議会に属しております。そのためこうはん線の運行協議会の際には、長根の地域における交通の課題について協議をさせていただいております。

(議長)

他に何か意見はございますか。

(公募市民)

ジブリパークがオープンし、ジブリパークへのアクセスも確保されて良いと思いますが、岩屋堂など瀬戸市で観光してもらうためのスポットがもっと整備されたらと感じております。

水野地域において感じる事として、企業団地があり、今後も大きな工場ができるとのことですが、交通渋滞が慢性化しているため公共交通が整備されれば少しは緩和されないかと思えます。

(議長)

瀬戸市では、瀬戸市地域公共交通網形成計画を策定し、こちらに基づいて様々な施策を行っておりますが、国は地域公共交通計画の作成を推奨しているところであります。こちらでは、意見として出た観光や企業バスについてや市内の全ての人の動きを考慮して作成することとなっております。事務局の考えも伺えたらと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

岩屋堂につきましては、秋の紅葉の時期には、渋滞が慢性化していることは重々承知しているところでございます。

現在の公共交通での岩屋堂へのアクセスとしては、コミュニティバス岩屋堂線や付近の国道までの運行とはなりますが、名鉄バスしなの線があるため、窓口等においては、こちらをご案内しているところでございます。

コミュニティバスにおいて観光目的での利用も可能になることができれば、観光も含めた公共交通となるのかもしれませんが、まずは第一前提として生活の足の確保となるため観光まで利用の幅を広げられていないということが現状であります。

今後、観光利用の可能性も含めて検討できればと思います。

もう一点の水野地域の渋滞につきましては、新たに工場ができることもあり、渋滞を危惧する声は聞きます。企業団地にお勤めの皆様が中水野駅へバスを通した場合に利用してくれるのであれば可能性はあると思いますが、企業団地の企業バスのほとんどは新瀬戸駅へ向かっていることもあり、公共交通の路線として組み込むことは中々難しいと感じているところであります。

また、地域公共交通計画を作成する際には、企業のバスに協力していただいて路線を組む等の話までできましたら検討してまいりたいとは思いますが、現時点では目途が立っていない状況となります。

(公募市民)

4ページにありますコミュニティバス品野3線から市内基幹バスしなの線への乗り継ぎ人数が1日当たり約4人となっておりますが、事務局としてはこの人数についてどのような見解をお持ちでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

事務局としては、思ったより少ないと感じているところであります。

ただ、そもそも品野3線の利用のニーズとして乗り継ぎより買い物の利便性なかなど地域の意向を運行協議会へ確認し、今後の方針を検討したいと考えております。

(公募市民)

承知しました。ぜひ運行協議会に確認いただき、PDCAサイクルを改善の方向に繋がられるよう実行してもらえればと思います。

(公募市民)

6ページにバス広報の発行とあり、しなの線沿線自治会にて発行とあり、他の各運行協議会にも発行の呼びかけとありますが、どの運行協議会にどのように呼びかけたのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

各運行協議会が開かれた際に自治会としてバス広報の発行の意向があれば、事務局が協力する旨をお伝えさせていただいております。

なお、今年度は曾野線、下半田川線及びこうはん線の運行協議会にてそのような

お話をさせていただいております。

(公募市民)

続いて6ページにG T F S化についての記載がありますが、こちらのデータは静的なデータということでしょうか。

(事務局)

静的なデータで問題ありません。

(公募市民)

具体的な使用方法を教えてください。

(事務局)

Googleマップの経路検索にて出発地と目的地を入力することで想定される経路が検索結果として時刻と共に複数表示されるものです。

(議長)

Googleマップをお使いにならないと分かりづらいかもかもしれませんが、今までの地図でも徒歩や自動車で何分かかるかというのは、分かっていたかと思いますが、鉄道やバスのダイヤや位置情報を載せることで電車やバスでも所要時間等が分かるようになったものです。

(公募市民)

便利なツールであることはわかりましたが、特にバスを利用される世代にもこちらの検索機能を使ってもらえるような活動は行っているのでしょうか。

(事務局)

現時点では、地域で利用方法を伝える等は、行っておりませんでしたので今後は運行協議会等の際に時間を設けて担当から地域の方へ利用方法を伝える機会を設けられたらと思います。

(議長)

確かに便利なツールがあっても、使い方が分からないと宝の持ち腐れになってしまうので、今後の課題としてもらえればと思います。

他に意見はありますか。

(愛知県 瀬戸警察署)

今年度、小学校等のバスの乗り方教室へ参加させていただきましたが、警察としては、公共交通機関を特に利用してもらいたいのは高齢者の皆様となります。公共交通を多く利用してもらえればそれだけ免許返納をしやすくなるためそのような環境づくりができたらと思うところです。

高齢者に対して今更バスの乗り方を教えるのは違うかもしれませんが、何か高齢者に対する施策があると良いと感じています。

そのように考える背景としては、愛知県下における高齢者が第一原因となる事故は、全体の内の約19.5%となっておりますが、瀬戸市のみで見ると25.3%となっております。

そこで、今後はさらに高齢社会となり、公共交通の需要も高まると思いますの

で、高齢者の公共交通の利用を促進し、何とか事故を減らせないかと考えております。

具体的な施策が思いつくわけではありませんが、先ほどお話に出たような便利なツールが今はありますので、高齢者の皆様に知ってもらう機会があるだけでも違うのかなと思います。

(議長)

事務局として何かございますでしょうか。

(事務局)

現在、バスの乗り方教室以外ではぬくも里祭りにも参加させていただいております。こちらの祭りは子供が中心のものではありますが、参加いただいた高齢者の皆様の視点でも何か行えたらと思います。

(議長)

他はいかがでしょうか。

(副議長)

第三者評価委員会の委員でもあるので、委員目線でお伝えさせていただきます。先ほどの意見でもありましたが、乗り継ぎの人数や新設バス停の利用者数については、事務局のコメントもあるといいかと思えます。

また、10ページのアクションについてですが、新しく取り組む施策については、「新たに」などの文言を加えた方が良くかと思えます。

先ほどの高齢者の皆様への利用促進についてですが、例えば高齢者の免許更新時に定期券のPRやアンケート調査の中で利用を促している自治体もあります。そういったことを参考にしても良いかもしれません。

デジタルツールは、Googleマップ以外にも愛知県様のmyrouteや名鉄様のCentXなど様々なものがありますが、せっかくあっても使い方が分からないと、行きたい場所のホームページを見て目的地に向かわれてしまいます。そのため、便利なツールの使い方を知ってもらうことはとても重要だと思います。ジブリパークのホームページでもアクセス手段に瀬戸市からバスで行けることは明記されていませんので、ジブリパーク来訪者は瀬戸市からバスが出ていることは知らずに、リニモで行くと決めてしまうと思います。

(議長)

他はいかがでしょうか。

事務局にて修正したものを最終成果としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

採決 <全会一致で承認>

(議長)

今の議題に関連して名鉄バス様の自主路線の利用状況についてお聞きできればと思いますが、いかがでしょうか。

(名鉄バス株式会社)

名鉄バスの自主路線の利用状況につきましては、今報告がありました路線と同じ傾向で新型コロナウイルス感染症の拡大後利用者が戻ってはいない状況となります。

今後の利用促進策として、地域のイベントにおいて積極的に各所で子供や高齢者向けの教室を行っておりますので、自治体様からお声掛けいただければ可能な限り協力させていただければと思います。

- (3) 報告事項 コミュニティバスの利用状況について
別紙資料3に従って事務局から説明

(質疑応答)

(議長)

利用傾向の変化を見ることは一番大事だと思います。こちらについて皆様からご意見はありますでしょうか。

(公募市民)

コミュニティバスの利用は、買い物と通院が多いと聞きますが、今の報告を聞く限り、買い物施設であるバロー品野店、病院である愛知医大及び陶生病院が減っているとのことですが、こちらについては、事務局はどのように分析しているのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

バロー品野店における利用状況の変化については、運行協議会とも話し合った結果、令和3年4月に便数を5便から4便に減便したことにより、帰りの待ち時間が長くなった影響が大きいのではないかと考えられます。

また、病院におけるバス利用者の減少については、運行協議会に話を聞く限り、新型コロナウイルスの拡大後は、総合病院より町医者にかかる人が多い傾向があるとのことなので、それが原因の一つだと考えております。

(公募市民)

令和3年度の陶生病院の事業報告書を確認すると、外来は令和2年度と比較して3.8%利用が伸びているという結果が出ています。外来の方全てがコミュニティバスを利用しているとは思いませんが、病院の利用者の減少が主な原因ではないと思います。

(事務局)

他に考えられる要因としては、継続的にコミュニティバスを利用してくれた方が利用されなくなったという話も聞きますのでそちらの影響があるのかもれません。

(瀬戸自動車運送株式会社 瀬戸旭タクシー部会)

陶生病院におけるコミュニティバスの利用についてですが、お客様にとっては、

新型コロナウイルスの感染対策をしているとはいえ、他に人が乗っているコミュニティバスに乗ることを遠慮されている方も多いと聞きます。それに対し、タクシーの利用は増えており、タクシーが足りない状況となっているため新型コロナウイルスの感染拡大における利用傾向の変化はあると感じています。

(議長)

病院に行く方は、治療を受ける人だけでなくお見舞いに行く人もいますが、新型コロナウイルスの拡大により面会の規制が厳しくなっているなど、様々な要素が関わってくると思いますので、そのように見てもらえればと考えます。

品野3線については、ダイヤ改正を行い、何度も改良するために検討されていると思いますので事務局から検討状況を説明いただければと思います。

(事務局)

品野3線については、バロー品野店への行きへのアクセスより帰りが問題との話をいただきますのでそのような問題を解消するため地元の運行協議会と現在の運行形態にこだわらず、改善できる方法を模索しております。

(議長)

ありがとうございました。他に皆様からご意見はありますか。

(公募市民)

運行事業者様からタクシーの利用状況も含めて教えてもらい利用傾向の変化が分かりました。

ただ、目的としては、タクシーというよりはコミュニティバスの利用を増やすことだと考えますが、各路線における協議の窓口となっている運行協議会は、どの程度開催され、どのような協議をされているのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局)

運行協議会の開催回数につきましては、年度当初の公共交通会議にて予定回数について報告させていただいておりますが、協議内容については、お伝えしておりませんでしたので今後の参考にさせていただきます。

(議長)

他に意見はなさそうなので次の議事に進ませていただきます。

- (4) 報告事項 ジブリパーク開園に伴うバス運行の実証実験について
別紙資料4に従って事務局（政策推進課）から説明

(質疑応答)

(議長)

こちらについて皆様からご意見はありますか。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

実証実験でバスを運行する中で、現状の一日平均の利用者数は20人から30人とのことですが、どの程度の利用者数になれば将来的にバスを運行するか目安はあるのでしょうか。

(事務局 (政策推進課))

現在は、往路復路それぞれ6便あるため合計で12便ありますので、現在は、一便あたり2、3名の利用となっております。バスの運行の存続については、明確な利用者数の基準は設けておりませんが、採算性を考えると現状の利用者数だと厳しいと感じています。

また、アンケート調査も実施しておりますので、そちらでニーズを確認しますのでそちらも含めてバスを存続するか今後検討したいと思います。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

当該路線の利用者が感覚的に少ない中で、ジブリパークの利用のニーズは県内の方に限らず全国的にあると思われそうですが、市で今後何か事業を検討していますか。

(事務局 (政策推進課))

本路線は、ジブリパークへ来た方が瀬戸市へ訪れてもらうための手段になり得ると考えておりますが、瀬戸市へ訪れてもらうために観光と連携した取り組みをジブリパークに関するプロジェクトチームにて行っております。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

ジブリパークがどれだけ繁盛するかの影響が大きいとは思いますが、せっかくバスの実証運行を行っているので、バスが走っていることを知らないということがないよう引き続き周知いただければと思います。その他、今回の道路運送法第21条路線にて他県等からジブリへお越しいただく方の市への呼び込みのツール等検討されている事等ございますか。

そういった観点から、実証運行を延長したいということになりましたら運輸支局も積極的に協力させていただきますので、ご相談ください。

(公募市民)

本事業は事業予算1,150万円が計上されて行われておりますが、ジブリパークは、事前予約が必要な施設であるため入場者が限られている点、瀬戸駅前以外では乗車ができない点があります。この事業は、最終的にどのようなものを目指して行われているのでしょうか。

(議長)

事務局、説明をお願いします。

(事務局 (政策推進課))

事業目的としては、市民の方にジブリパークに行ってもらおうこととなります。瀬戸からジブリパークへ行く方がどの程度いるのかは、この事業をやってみないと分からないものでありますので、この事業をPRしつつ、利用がどの程度出てくるか実験させていただくものです。

また、併せて瀬戸市へどの程度訪れてもらえるかについても本実験やアンケート

調査を通じて確認できればと考えております。

(議長)

波及効果等の検証はまだされていないということでしょうか。

(事務局(政策推進課))

本件については、瀬戸市では検証しておりませんが、愛知県の調査ではジブリパークの一次オープンによって年間100万人の観光客が見込まれています。

(議長)

瀬戸市への経済や観光への影響に関するデータはありませんか。

(事務局(政策推進課))

本件であるバスの運行による瀬戸市への影響について算出されたものはありません。

(公募市民)

元々、休日はバスの運行があるうえに瀬戸自動車運送株式会社においてもジブリパークへのタクシーを実施しているため、実証運行を終えた後の検討については、厳しく検討いただければと思います。

(議長)

ジブリパークへのタクシーの話が出ましたが、観光タクシー事業を行っている運行事業者様はどのようにお考えでしょうか。

(瀬戸自動車運送株式会社 瀬戸旭タクシー部会)

弊社にて観光タクシー事業を実施しておりますが、弊社としては、南山大学の石川ゼミの学生さんや地域のおかげで行うことができていると考えており、わくわくできるような事業にできたらと思っております。

(副議長)

タクシーは何人かで利用すれば一人あたり意外と安く行けるとか、バスは一人旅行者でも安いとかそれぞれ利点があります。ジブリパークが近隣市にできるということで、いろんな来訪者に瀬戸に来てもらい、瀬戸市全体としてその恩恵をどのように取り入れていくかが大事だと思います。

公共交通は様々な施策に関係するため、本件のようにバスを新たに走らせる際には、政策パッケージ全体としてどのような方針があるのでバスを走らせるという話があると事業の意義がより分かりやすいと感じました。

(公募市民)

せっかく「トナリノセトシ」というキャッチコピーができたので、旅行に行った時についてに寄ろうと思える場所があると良いと思います。

最近が高齢者でも東海自然歩道等を利用されているようなので、ジブリパークのような大掛かりな施設ではなく岩屋堂をトレッキングできるように整備するなど既存のものを活用することでも人を集めることはできるかと感じました。

(議長)

色々な観光資源があると思いますので、それらを大事にできればと思います。
他に意見はなさそうなので、本件は以上とさせていただきます。予定されていた議事はすべて終わりましたが、最後にその他として配布資料がありますので、まず事務局から資料についての説明をお願いします。

(5) その他

鉄道の利用者数について参考資料のとおり説明。

(議長)

では、続きまして愛知県M a a S実証実験PRチラシについて愛知県交通対策課様より説明をお願いします。

資料に従って愛知県交通対策課より説明。要点は以下のとおり

(愛知県 交通対策課)

- ・myrouteアプリについてもgooglemapと同じように経路検索が可能であるが、これに加えてアプリ上で愛知環状鉄道やリニモの一日乗車券といったデジタルチケットの購入や地域の観光情報が確認可能
- ・瀬戸市が実証実験を行っている尾張瀬戸駅から愛・地球博記念公園行きのシャトルバスについても検索可能
- ・ジブリパークへのパークアンドライドのための駐車場が芸大通駅付近にあり、そちらの予約が可能
- ・愛知市町村フェアが現在開催中であるが、来場者の中でmyrouteのアプリを利用されている方にはノベルティがプレゼントされることもあるので、ぜひ皆様にもアプリをダウンロードし、活用していただきたい

(質疑応答)

(議長)

前回の会議で名古屋鉄道様よりCentXの紹介をいただきましたので、今後もアプリの使い方等を皆様で教えあうことができたと思います。最後に運輸支局様からご説明をお願いします。

(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)

令和6年度から改正基準告示が変わることとなり、運転手の最大拘束時間が16時間から15時間へ変更され、休息時間が原則12時間、最低9時間を取ることとされる見込みです。そのため、ダイヤ改正等を行う際は、法令違反が起こらないよう注意していただきたい。

(議長)

安全性の懸念から改正があるということですね。他に皆様からご発言はありますでしょうか。

その他意見もないようですので、事務局に進行をお返しいたします。

○ 閉会

(事務局)

磯部議長、ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、お忙しい中、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

なお、後日開催通知を送付いたしますが、第3回の会議の日程は3月の開催を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、以上をもちまして、令和4年度第2回瀬戸市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。